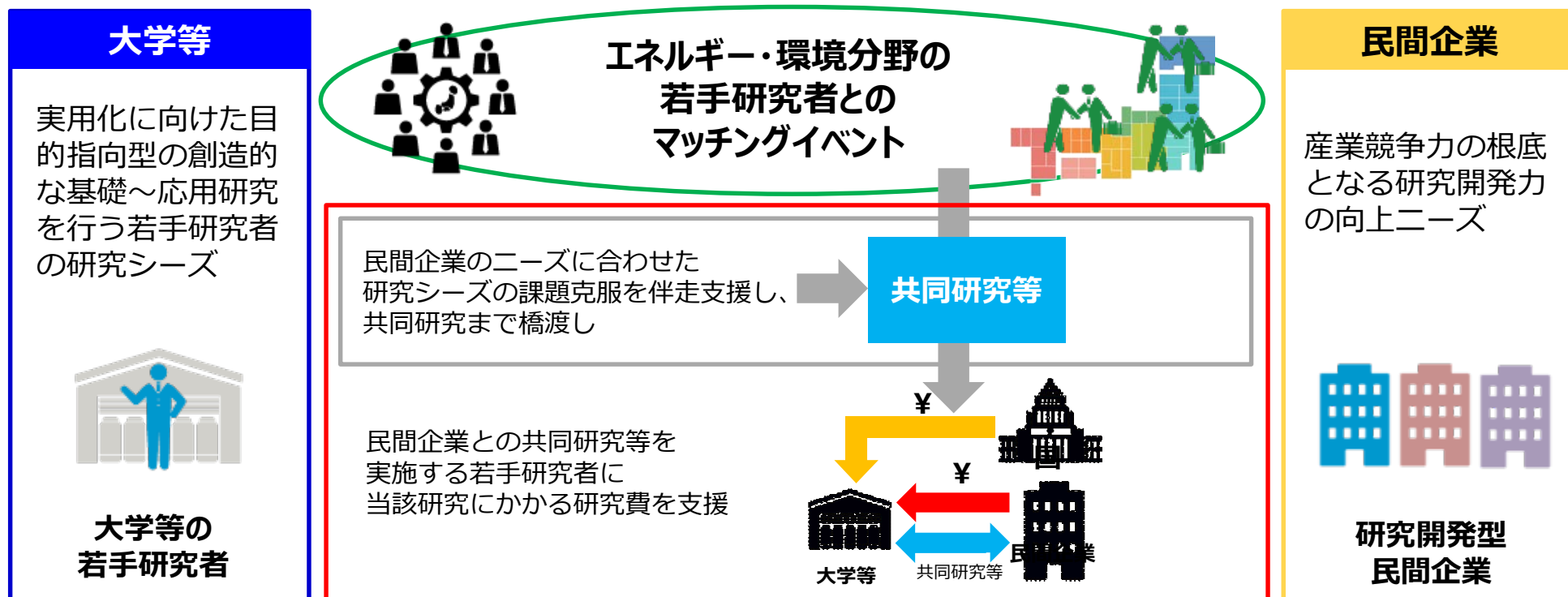


**エネルギー・環境分野における  
産学連携の更なる発展に向けて  
－ 若手研究者支援 －**

**2020年8月21日  
経済産業省 産業技術環境局  
大学連携推進室**

# ゼロエミクリエイターズ500（若手研究者支援）概要

- エネルギー・環境分野の研究開発は、短期的な収益には結びつかないケースが多いことから、企業の取組が進みにくい。
- このため、企業のニーズを収集しつつ、これまでリーチできていない大学等の若手研究者及びゼロエミッションに繋がる研究シーズを発掘するとともに、企業とのマッチングを促進することが重要である。
- 政府の支援を通じ、エネルギー・環境分野の大学等の有望な若手研究者と企業の研究開発等を結びつける仕組みの構築などを通して、**5年間で500人の若手研究者を発掘する。**



# ゼロエミクリエイターズ500の具体的な支援イメージ

- 革新的環境イノベーション戦略の実行の担い手として、大学等の**若手研究者を発掘・支援**するために、「**官民による若手研究者発掘支援事業**」の公募を実施（6/23～8/17）。今秋から具体的なマッチング支援を開始予定。

## ① マッチング サポート

年間100名程度の  
若手研究者を発掘

- ✓ 若手研究者と民間企業が参加するマッチングイベント等を活用
- ✓ 民間企業のニーズに合わせた研究シーズの磨き上げを伴走支援し、共同研究まで橋渡し

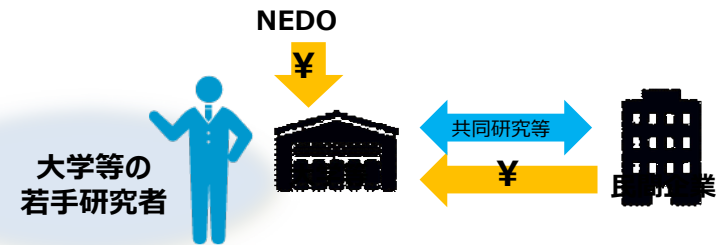


## ② 共同 研究支援

官民による若手研究者発掘支援事業  
令和2年度 提案見込数：約180件

① マッチングサポート 約150件  
② 共同研究支援 約 30件  
うち3割程度がエネルギー・環境分野

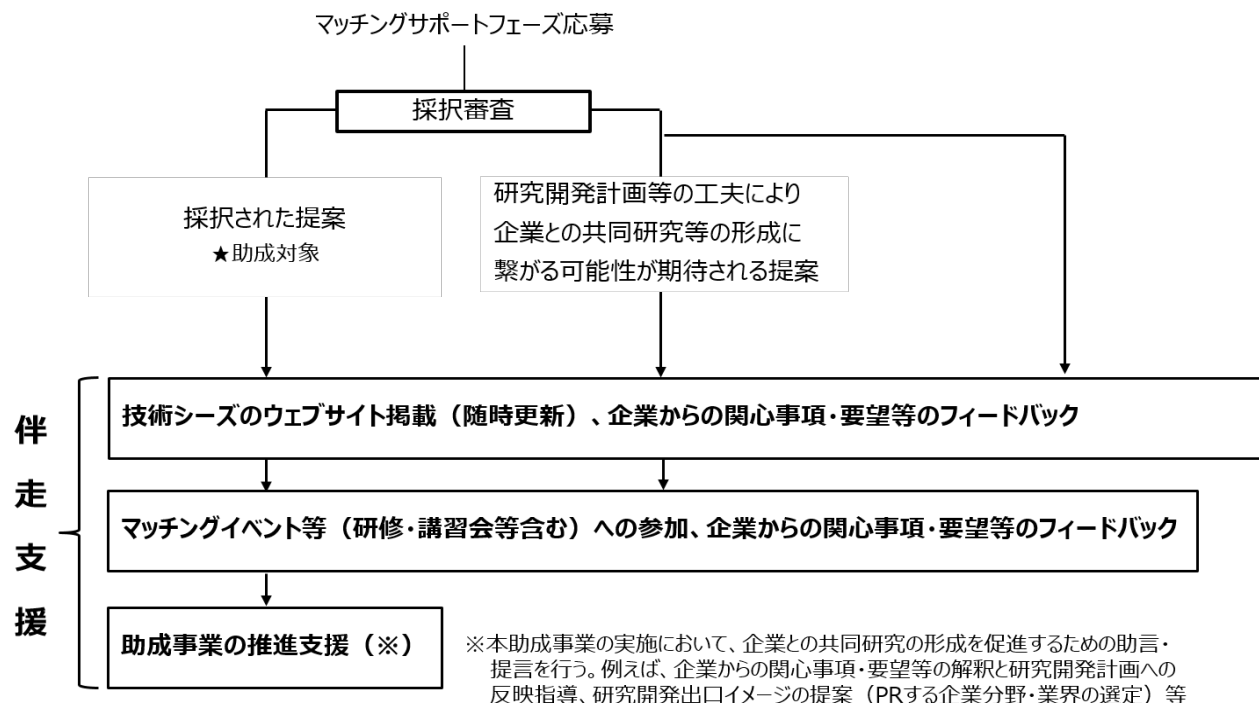
- ✓ 民間企業との共同研究等を実施する若手研究者に対し、当該研究にかかる研究費を支援



若手研究者の技術シーズ×民間企業の事業化 イメージ  
バイオ由来有用マテリアル利用技術  
× 新規合成材料開発メーカー  
高効率な水素製造技術 × 化学プラントメーカー

# ゼロエミクリエイターズ500の具体的な支援イメージ（2020年度）

- 2019/11/19に京都において、環境・エネルギー分野に限定して実施したプレマッチングの場においては、大学から推薦を受けた約20名の若手研究者から企業ニーズを基に絞り込んだ15名に対して企業等含む150人程度が参加し、**マッチングサポートや共同研究への支援など、期待の声が寄せられた。**
- この経験を踏まえ、**METI、NEDO、マッチングサポート機関が一体**となり、若手研究者を支援するためのマッチングを実施。



## ★提案内容をNEDOウェブサイトに掲載

- 技術シーズ（研究開発の内容）を広く企業に周知
- 企業からの関心事項・要望等を収集

## ★マッチングイベント等の実施

- 分野別、地域別などで企業向けの研究シーズ発表会等を実施
- 共同研究等の形成に向けた研修・講習会等への参加

## ★マッチングサポート機関が企業からの関心事項・要望等を収集

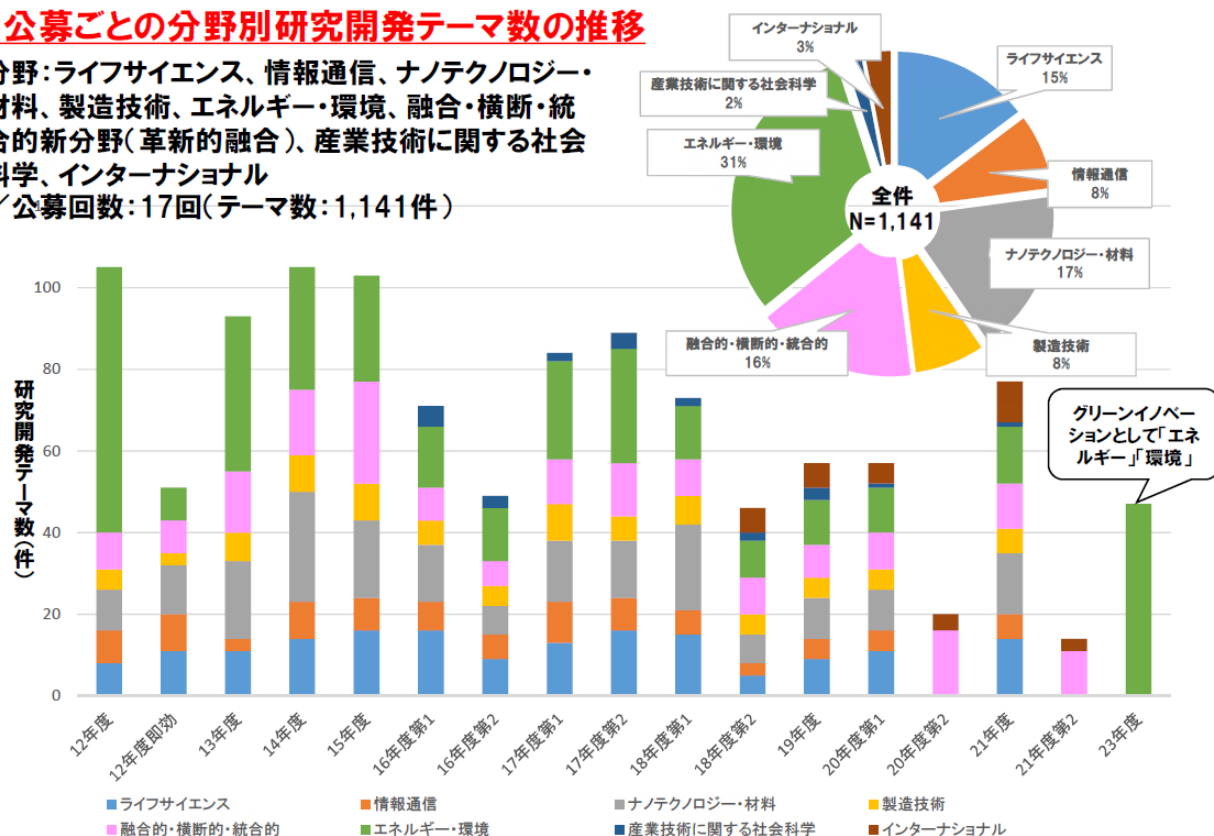
- 企業との連携促進
- 共同研究等の形成に向けた助言・提言等を実施

# エネルギー・環境分野における若手研究者への期待

- エネルギー・環境分野の若手研究者は、過去のNEDO若手研究 Grant 事業が対象としていた全分野に対して、約30%以上の支援実績もあり、「官民による若手研究者発掘支援事業」に対しても期待値は高い。
- ゼロエミクリエイターズは、若手研究者のシーズ発掘だけでなく、企業とのマッチングまで伴走支援することで、**革新的環境イノベーション戦略の実行の担い手**として期待している。

## ・公募ごとの分野別研究開発テーマ数の推移

分野: ライフサイエンス、情報通信、ナノテクノロジー・材料、製造技術、エネルギー・環境、融合・横断・統合的新分野(革新的融合)、産業技術に関する社会科学、インターナショナル  
 / 公募回数: 17回(テーマ数: 1,141件)



# (参考) 産学対話の場：JOIC 産学連携推進WGについて

〔JOIC:オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会〕

- 技術革新のスピードが加速化し、コアビジネスに加え新事業領域の開拓が強く求められる中、企業はスピード感を持って次々と価値を創出するために産学連携を含めた外部リソースの活用が不可欠となっている。
- 連続的・持続的なイノベーションを創出していくために、JOICのもとに、産学連携推進WGを設置し、産業界、大学の先進的な取組や課題を共有しつつ、産学連携を深化させるための方策等について議論する。**今後、エネルギー・環境分野の支援方法や業界動向なども含めて検討。**

## 産学連携推進WG概要〔2020年7月～〕

- ・産業界と大学から産学連携の現場にも精通したメンバーによりWGを構成（事務局：経済産業省・NEDO）
- ・議論テーマに応じて定期的開催  
〔議論テーマ例〕
  - ① 大学の優秀な若手研究者を発掘し、企業の研究開発等に結びつけるための方策について
  - ② 産業界が求める博士人材のあり方について
  - ③ 中長期研究インターンシップへの企業の参加促進策について
  - ④ NEDO事業への提言について
  - ⑤ その他産学連携を深化させる方策について など



## 産学連携推進WGメンバー

〔メンバー構成〕（2020年6月時点、五十音順）

### <産業界>

|             |                                 |
|-------------|---------------------------------|
| 北川 雅基       | 三菱ケミカル株式会社 新事業創出部               |
| 桑名 保宏       | AGC株式会社 技術本部企画部 協創推進グループ        |
| 小林 由典       | 株式会社東芝 技術企画部 技術戦略室 共創企画担当       |
| 高野 史好       | コマツ CTO室 技術統括部                  |
| 田中 精一       | コベルコ建機株式会社 企画本部 新事業推進部新事業企画グループ |
| 津田 健一郎      | 日本電気株式会社 研究企画本部                 |
| 拜司 裕久       | JFEスチール株式会社 技術企画部 企画グループ        |
| 蓮岡 淳        | 武田薬品工業株式会社 リサーチ 湘南リサーチセントラルオフィス |
| 平田 謙司/小澤 正美 | ソフトバンク株式会社 技術管理本部 システムサービス事業統括部 |
| 渡辺 康一       | 株式会社日立製作所 研究開発グループ 基礎研究センタ 企画室  |

### <大学>

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| 安部 武志  | 京都大学 大学院工学研究科         |
| 加藤 滋   | 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部  |
| 北岡 康夫  | 大阪大学 共創機構 イノベーション戦略部門 |
| 佐々木 一成 | 九州大学                  |
| 寺内 伊久郎 | 北海道大学 産学連携推進本部        |
| 長谷川 崇  | 秋田大学                  |
| 伏見 知行  | 慶應義塾大学 学術研究支援部        |